

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)薬院2丁目賃貸マンション新築工事

 ■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.4	
Q1 室内環境					0.40		-	2.7	
1 音環境				3.0	0.15	3.0	1.00	3.0	
1.1 室内騒音レベル		—		3.0	1.00	3.0	0.50		
1.2 遮音		—		-	-	3.0	0.50		
1 開口部遮音性能		—		-	-	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能		—		-	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		Lr-45		-	-	4.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		—		-	-	2.0	0.20		
1.3 吸音		—		-	-	-	-		
2 温熱環境				2.0	0.35	2.1	1.00	2.1	
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.3	0.50		
1 室温		—		3.0	0.63	3.0	0.63		
2 外皮性能		「5-1断熱性能等級における」等級4を超える		3.0	0.38	4.0	0.38		
3 ゾーン別制御性		—		-	-	-	-		
2.2 湿度制御		—		1.0	0.20	1.0	0.20		
2.3 空調方式		—		1.0	0.30	1.0	0.30		
3 光・視環境				1.5	0.25	2.9	1.00	2.5	
3.1 昼光利用				1.8	0.30	1.9	0.50		
1 昼光率		—		1.0	0.60	2.0	0.50		
2 方位別開口		—		-	-	1.0	0.30		
3 昼光利用設備		—		3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策				1.0	0.30	4.0	0.50		
1 昼光制御		庇とカーテンの2種類を組合せて制御している		1.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度		—		3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御		—		1.0	0.25	-	-		
4 空気質環境				3.6	0.25	3.7	1.00		3.7
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建築材料を採用している。		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				3.0	0.40	3.3	0.38		
1 換気量		—		3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		居室面積の1/8以上の開閉可能な窓を確保している。		-	-	4.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		—		3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理				-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視		—		-	-	-	-		
2 喫煙の制御		—		-	-	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.1	
1 機能性				2.7	0.40	3.2	1.00	3.0	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	4.0	0.60		
1 広さ・収納性		—		-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応		100Mbitクラスのプロードバンドが利用可能		-	-	4.0	1.00		
3 バリアフリー計画		—		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観		—		-	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		—		-	-	-	-		
3 内装計画		—		1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		共用部の床・壁は防汚性の高い仕上げとしている		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		廃棄物のスペースを確保し、搬出も容易な計画とした		4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-	3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		—		3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		—		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.1	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		—		3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		—		2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		フローリング20年		4.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		—		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な上位3種類の2種以上にBを使用し、Eは不使用		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		—		2.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		—		3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		—		3.0	0.20	-	-		
3 電気設備		—		3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		—		3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		—		3.0	0.20	-	-		
3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.6	1.00	3.4	
3.1 空間のゆとり				-	-	4.2	0.50		
1 階高のゆとり		階高は3.0m以上である		-	-	5.0	0.60		
2 空間の形状・自由さ		—		-	-	3.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり		—		-	-	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-		
1 空調配管の更新性		—		3.0	0.20	-	-		

		2	給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
		3	電気配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
		4	通信配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
		5	設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
		6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					—	0.30	-	-	1.3
1	生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮				1.0	0.40	-	-	1.0
3	地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	3.5
LR1 エネルギー					—	0.40	-	-	4.1
1	建物外皮の熱負荷抑制				適切な断熱材を施し、外皮の熱負荷抑制に努めた	4.0	0.20	-	4.0
2	自然エネルギー利用				—	2.0	0.10	-	2.0
3	設備システムの高効率化				[BEI][BEIm] ≤ 0.85	5.0	0.50	-	5.0
4	効率的運用					3.0	0.20	-	3.0
		集合住宅以外の評価				-	-	-	
		4.1	モニタリング		—	-	-	-	
		4.2	運用管理体制		—	-	-	-	
		集合住宅の評価				3.0	1.00	-	
		4.1	モニタリング		—	3.0	0.50	-	
		4.2	運用管理体制		—	3.0	0.50	-	
LR2 資源・マテリアル					—	0.30	-	-	3.2
1	水資源保護					3.0	0.20	-	3.0
	1.1	節水			—	3.0	0.40	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	
		1	雨水利用システム導入の有無		—	3.0	1.00	-	
		2	雑排水等利用システム導入の有無		—	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減					3.3	0.60	-	3.3
	2.1	材料使用量の削減			—	2.0	0.11	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用			—	3.0	0.22	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用			—	3.0	0.22	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			—	3.0	0.22	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材			—	-	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み			躯体+木下地+仕上材により分別が容易としている。	5.0	0.22	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避					3.3	0.20	-	3.3
	3.1	有害物質を含まない材料の使用			—	3.0	0.30	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	
		1	消火剤		—	-	-	-	
		2	発泡剤(断熱材等)		ODP=0、GWP=50未満の発泡剤を用いた断熱材を使用	4.0	0.50	-	
		3	冷媒		—	3.0	0.50	-	
LR3 敷地外環境					—	0.30	-	-	3.0
1	地球温暖化への配慮				ライフサイクルCO2排出率を抑制し、地球温暖化に配慮した。	3.3	0.33	-	3.3
2	地域環境への配慮					2.8	0.33	-	2.8
	2.1	大気汚染防止			—	3.0	0.25	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善			—	3.0	0.50	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制				2.5	0.25	-	
		1	雨水排水負荷低減		—	3.0	0.25	-	
		2	汚水処理負荷抑制		—	3.0	0.25	-	
		3	交通負荷抑制		—	3.0	0.25	-	
		4	廃棄物処理負荷抑制		—	1.0	0.25	-	
3	周辺環境への配慮					3.0	0.33	-	3.0
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	
		1	騒音		—	3.0	1.00	-	
		2	振動		—	-	-	-	
		3	悪臭		—	-	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	
		1	風害の抑制		—	3.0	0.70	-	
		2	砂塵の抑制		—	1.0	-	-	
		3	日照障害の抑制		—	3.0	0.30	-	
	3.3	光害の抑制				3.0	0.20	-	
		1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		—	3.0	0.70	-	
		2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		—	3.0	0.30	-	